

# 地域おこし協力隊活動報告

平成30年9月1日 ~ 令和元年8月31日

大分市地域おこし協力隊  
野津原支所 地域活性部門  
大石 治生

## 発表内容について

1. 3任期目の協力隊活動
2. 任期終了後について

# 1. 3任期目の協力隊活動

- ・ 野津原地区のイベント撮影
- ・ 撮影協力
- ・ ボランティアガイド支援活動  
観光ガイドマップ製作など
- ・ 有害鳥獣の駆除



# 地域のイベントをビデオで記録

ななせの里まつり、神輿巡幸（清正公まつり、太田諏訪神社、宇曽嶽神社）



清正公まつり



太田諏訪神社大祭



宇曽嶽神社大祭



ななせの里まつり

# 制作したDVDビデオ



# 撮影協力

国民文化祭関連の取材撮影を行いました。





# 観光ガイドマップ製作協力など

佐賀関・鶴崎・野津原3地区のボランティアガイドが連携し、「海舟・龍馬思索の道」としてガイドマップを製作し配布しました。



実際に現地を撮影した解説ビデオも制作



# 中世の街道調査とガイドマップ試作

トップ 大分県内 国内海外 スポーツ エンタメ おくやみ イベント 動画 ふんぶん

写真館 書いてん! 観光マップ まとめ 読み物 小説 健康 読者投稿 動画・写真

大分県内ニュース

中世・野津原の道調査 石畳、鳥居、道標… 歴史語る痕跡多数

2018年03/01 08:01

ツイート

大分市野津原地区の有志が、江戸時代より前にできたとみられる地区の主要道を調査した。一部を除き今は使われておらず、生い茂る草木に隠れた箇所も、「記録に残しておかぬば」とたどると、石畳や鳥居、道標などがつて人々が往来した歴史を物語る痕跡を数多く確認できた。「地元の人に広く知ってもらえたら」と、まちづくり情報誌の3月号で紹介する。



調査するために出向く大石治生さん（前列左）、佐藤源治さん（後右）ら

調査は地区に住む市地城おこし協力隊員の大石治生さん（54）が思い立った。イノシシの捕獲途中で古い石畳に気付く。郷土史に詳しい佐藤源治さん（94）＝野津原＝に何が隠れたところ、かつての主要道の一部だった。

できた時期は野津原に肥後街道が整備された江戸時代の初めより古い中世と推定。郷土史誌にも記されていた。「このまま忘れられるのは惜しい。歴史を知る人がいるうちに調べたい」と考えたという。

宇曾山のみもとと権現一吉熊間の林地を通る約1キロ。昨年10月、佐藤さん、地元の情報誌「町・ひと のつばる」を一緒に編集している野津原公民館職員らと現地を歩いた。

石畳をはじめ江戸～大正期の建造物を写真や映像に収めた。山頂にある宇曾神社（江戸時代創建）の参道を兼ねており、途中に鳥居が立ち、各所の分かれ道に神社までの距離と方向を示す石造りの道標があった。「虫封じ」で知られた神社に参拝するため、多くの人々が歩いていたことがうかがえた。

地区で全戸回覧している情報誌（まちづくり活性化協議会発行）には、調査の様子を佐藤さんの話と写真を交えて掲載する。

この道の資料も作成し、地域の歴史ボランティアガイドの活動に役立ててもらおう考え。

大石さんは「熊本藩が参勤交代に使った肥後街道と同様に、野津原にとって大切な道だった。郷土の歴史に関心を深めるきっかけにもしてもらえたら」と話している。

※この記事は、3月1日大分合同新聞朝刊12ページに掲載されています。



野津原町商工会にガイドマップ製作を引き継ぎ  
今秋以降に配布予定



# 有害鳥獣の駆除



野津原で捕獲班（駆除班）の事務局  
として設立の支援を行った。



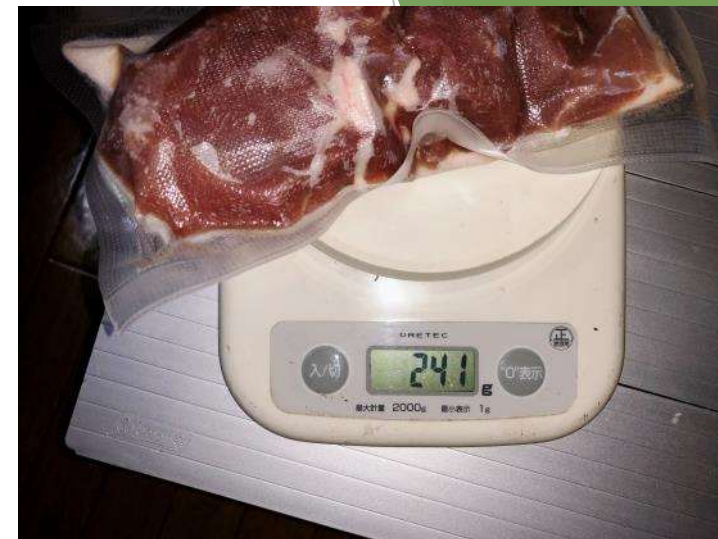


警察から民家付近のくくりわなに掛かったイノシシの駆除依頼があり槍を使って駆除

農家から有害鳥獣の捕獲依頼があり、イノシシ（約70KG）を捕獲



ジビエの商品化について  
捕獲したイノシシを解体  
して精肉まで行った。

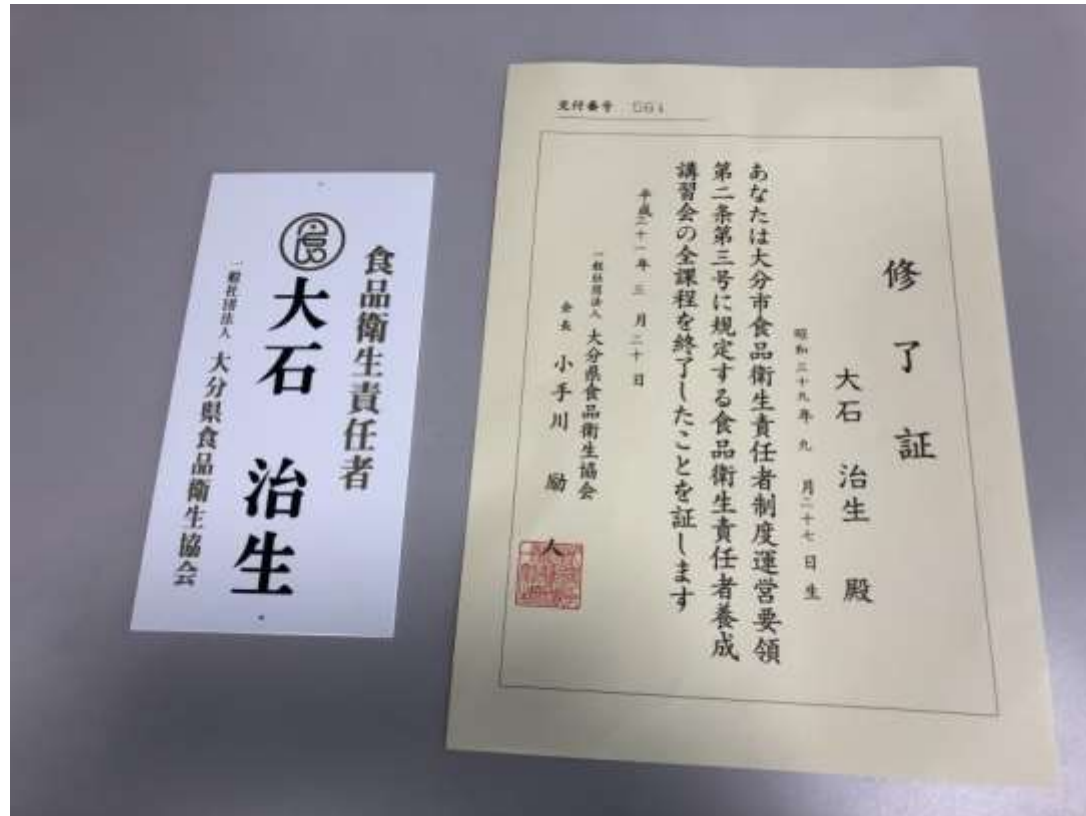


## 協力隊任期終了後について

- ▶ 有害鳥獣駆除の駆除班としての活動とジビエ素材の販売に向けて食品衛生責任者の資格を取得し、イノシシ解体用の設備を整備した。
- ▶ 甲冑製作講座開催と販売に向けて営業活動を行った。



# ジビエ販売に向けた準備を行った



食品販売に必要な資格の取得



イノシシ解体に必要な設備

# ジビエ販売の調査 (道の駅販売所)





# 甲冑製作に向けた取り組み



The screenshot shows a web browser displaying a news article from Kochi News. The article is titled "14歳 念願の元親役" (14-year-old achieves long-awaited role of the ancestor). The text describes a festival in Kochi City, Nishihama, where participants wore armor and participated in a parade. A photo shows a group of people in traditional samurai armor. The article also mentions that the festival is held annually and that this year's event was particularly successful.

14歳 念願の元親役  
高知市長浜の若宮八幡宮で19日、「長宗我部まつり」が開かれ、甲冑(かっちゅう)や陣羽織を身に着けた68人が武者行列を披露し、家族連れや歴史ファンを沸かせた。

長宗我部元親は1560年、初陣「長浜の戦い」の戦勝を同八幡宮で祈願したとされ、長宗我部まつり実行委員会が慰霊祭を毎年実施している。7年前から、慰霊祭の参加者に楽しんでもらおうと飲食スペースや物品販売の屋台などを設置。今年は桂浜水族館の人気キャラクター「おとどちゃん」も参加し、場内がにぎわった。...

大分県外のイベントに参加して甲冑作りをPR



昨年の夏に大分市で甲冑製作教室を開催

甲冑試着体験の記念撮影準備として  
甲冑製作教室終了時にテスト撮影



協力隊任期終了後の10月に開催される宗麟公まつりで  
観光客向けの記念撮影システムを稼働予定





南総里見八大伝のモデルになった  
戦国大名里見氏のふるさと南房総

ふるさと手づくり甲冑師  
**山口幸夫**

南総里見手づくり甲冑愛好会代表

〒95-0011 千葉県南房総市千倉町北朝夷732  
TEL・FAX 0470-44-1390  
携 帯 090-2252-9469  
E-mail kabuto@awa.or.jp  
URL <http://www.awa.or.jp/home/kabuto/>  
Facebook <http://www.facebook.com/yukio.yamaguchi.501>



紙と布で作る甲冑



中房総  
大多喜  
第44回  
お城まつり  
2018  
10/13日  
前夜祭  
10/14日  
出陣

主催▶大多喜お城まつり実行委員会  
〒299-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜93  
TEL0470-82-2176 FAX0470-82-4461  
<http://www.town.otaki.chiba.jp/>

南房総  
第37回  
里見  
まつり  
2018  
10月  
20日

主催▶南房総お城まつり実行委員会  
〒95-0011 千葉県南房総市千倉町北朝夷732  
TEL0470-44-1390 FAX0470-44-1391  
<http://www.nanryu.or.jp/>

関東・関西方面で手づくり甲冑教室を開催し各地のお城祭りに協力している甲冑師を紹介していただき、FRP製甲冑教室の共同開催に向け打合せを行っている。



甲冑製作教室にFRP製甲冑を持参し営業活動と協力体制を構築



御視聴ありがとうございました